

いこいこいこい

第66号

令和4年4月
発行: 依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL: 0268-68-0281
FAX: 0268-68-0283

施設長着任あいさつ



施設長
須山 和弘

このたび石橋久夫先生から引き継いで依田窪老人保健施設「いこい」の施設長に就任しました。

前施設長石橋先生は「全人的ケア&全人的リハビリ」を目標に掲げ、介護保険制度開始当初から長年にわたって情熱をもって老健施設の改革に取り組み、当施設の体制基礎を作られました。

施設長を引き継ぐに当たり、その基礎の上に立ち、少しでもその理念を引き継ぎ、発展させていかなければならないと身の引きしまる思いです。

介護老人保健施設とは、病院とともにその地域にとってはなくてはならない施設です。これからの高齢化社会を考える時に、地域の皆様には病院よりも身近なものといえるかもしれません。



紅アカシア
長和町青原公園
開花予想 5月中旬～6月上旬

幸いにも「いこい」は、依田窪病院に隣接しており、私も依田窪病院の副院長兼務ということになりました。、図らずも何かと密に連携できるのではないかとプラスに考えています。

これまで以上に病院と連携をとり、地域の皆様の健康および生活の向上に貢献できるように努めていく所存です。

だれでも老いることにより心身の機能が低下してきてしましますが、尊厳ある生活を続けていけるように職員一丸となって「全人的ケア&全人的リハビリ」を目指していきます。

今後とも同様に皆様ご支援よろしく申し上げます。

事務局長着任あいさつ



事務局長
滝沢 研一

この3月31日まで、上田市武石地域自治センターに勤務していましたが、上田市からの派遣により、4月1日から依田窪老人保健施設「いこい」の事務局長に着任しました。

武石に居住しておりますことから、顔見知りの方もいらっしゃるかと思います。

いこいは、はじめての勤務先であり、はじめての仕事のため、地域の皆様、また、職員の方々にご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、ご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者に対して介護サービスやリハビリなどを提供し、自宅復帰への支援を行う、地域に不可欠な重要な施設です。

微力ではございますが、地域の皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍で、まだまだ大変な時期が続きますが、密にならない屋外で、スポーツや自然に触れるなど、リフレッシュしてみてもどうでしょうか。

早く以前の生活に戻れることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年度予算概要

(単位:万円)

歳入総額	55,797
施設サービス料収益	22,051
居宅サービス料収益	15,896
食費・居住費等収益	6,184
市町分担金	6,252
その他	5,414
歳出総額	55,797
給与費	35,225
材料費	3,192
経費	4,864
委託金	4,534
償還金	6,252
その他	1,730

令和4年度の予算は、5億5千797万円となりました。

3月14日、依田窪医療福祉事務組合議会3月定例会が開かれました。

依田窪老人保健施設「いこい」の令和4年度特別会計予算案、令和3年度補正予算案が審議され可決されました。

令和4年度予算は、歳出の増を見込み、前年度に比べ6万8000円の増額予算となりました。

主な予算は、次のとおりです。



エクスパリーアザレア(西洋ツツジ)
上田市武石小沢根
岳の湯温泉雲溪荘へ向かう市道沿
開花予想 5月下旬～6月上旬

ほっと通信

依田窪老人保健施設「いこい」には、医師、看護師、介護員、理学・作業療法士、管理栄養士、支援相談員と多職種が勤務しています。

このコーナーでは、各職種からいろいろな情報を発信いたします。

地域貢献を目指して!

令和3年11月11日から、依田窪老人保健施設「いこい」の支援相談員になりました、樋口裕樹です。

福祉系の大学を卒業後、訪問介護員として在宅介護を経験し、他病院のソーシャルワーカーを経て、いこいへ入職いたしました。

相談員としての経験はまだ未熟ですが、いこいの窓口として皆様のご相談に一つ一つ丁寧に対応していきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

支援相談員 樋口 裕樹



在宅復帰

当施設では介護が必要な状態にある方(要支援、要介護認定を受けた方)の在宅復帰・在宅支援を目指す施設として地域の皆様にご利用していただいております。介護老人保健施設は、在宅復帰を目的にリハビリテーションを提供することが主な役割となつていますが、要介護者・要支援者のみならず地域の皆様に貢献できるような役割を担っていかねばと思っております。

介護が必要になると、体力、筋力の低下により自宅で生活するのは無理なのではないか?と思われる方も多くいらっしゃるかと思います。

そこで、いこいでは在宅復帰、在宅支援を目標に掲げ、地域の皆様に貢献できればと日々奮闘しております。

全職種でご利用者が住みなれた地域で最後まで生活できることを目標に支援させていただきます。

私達は日頃、支援していくうえで『リフレーミング』という言葉をお大切にしています。

リフレーミングとは、今の状態では自宅で生活するのは無理なのでは?の考え方を「できそう」「なんとかなりそう」と考え方を換えていただくを言います。

「自宅での生活は難しい」という思いには様々な困りごとが隠れています。身体的、精神的、環境の問題等様々です。



多職種によるカンファレンス

当施設には、入所サービスの他、在宅サービスがあります。短期入所療養介護(ショートステイ)、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションがあります。退所して終わりではなく家に帰ってからも在宅生活の様子を踏まえ看護、介護、リハビリを継続して支援することが可能です。ご本人、ご家族に寄り添い在宅生活への不安や困りごとに対し、多職種連携を行ない、「リフレーミング」していただければという取り組みでまいりたいと思っております。また、その他に介護予防事業では、長和町から委託を受けて行っている通所型サービスC(短期集中予防プログラム)や社会福祉協議会で行っている、いきいきサロンでの介護予防活動など地域に貢献できるように活動を続けてまいりたいと思っております。

入所申込み等についても困りごとがありましたら、支援相談員2名が窓口として対応しておりますのでお気軽にご相談ください。

ふれあい

■人事異動

○3月31日付

施設長 石橋 久夫

退職 掛川 悦子

○4月1日付

施設長 須山 和弘

事務局 長 滝沢 研一(上田市派遣)

介護係長 上條 拓也(昇格)

理学療法士 坪田 昌幸(病院→老健)

管理栄養士 武井 聖実(病院→老健)

管理栄養士 内山 聡美(老健→病院)

【会計年度任用職員】

介護福祉士 掛川 悦子



美ヶ原高原レンゲツツジ
物見石レンゲツツジ群生地
美ヶ原高原美術館を望む
開花予想 6月下旬~7月上旬

★ 編集後記 ★

この地域には、花の名所がたくさんあり、様々な表情を魅せています。

これからの季節は、美ヶ原高原がおすすめスポットで、6月中旬頃からはレンゲツツジが、7月からはたくさんの種類の高山植物が楽しめますので、ぜひ一度足を運んで、季節の訪れと大自然を満喫してみてくださいいかがでしょうか。(編集委員)